### prefetch-file

Windowsプレフェッチファイルからプログラム実行の痕跡を抽出します。

#### 構文

prefetch-file [zipcharset=CHARSET] [zippath=ZIPFILE\_PATH] FILE\_PATH

必須パラメータ

**FILE\_PATH**

PFファイルのパス。通常、プレフェッチファイルは C:\Windows\Prefetch ディレクトリに生成されます。

オプションパラメータ

**zipcharset=CHARSET**

ZIPエントリのエンコーディング形式（デフォルト: utf-8）。以下のドキュメントに記載されているPreferred MIME Nameまたはエイリアスを使用してください: <https://www.iana.org/assignments/character-sets/character-sets.xhtml>

**zippath=ZIPFILE\_PATH**

ZIPファイルのパス

#### 説明

コマンド実行後に出力されるフィールドの内容については、以下の表をご参照ください。

**出力フィールド**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| フィールド | 型 | 名称 | 説明 |
| \_file | 文字列 | PFファイル名 | 例: CMD.EXE-0BD30981.pf |
| directories | 配列 | ディレクトリパス一覧 |  |
| executable\_name | 文字列 | 実行ファイル名 | 例: CMD.EXE |
| file\_size | 64ビット整数 | 実行ファイルサイズ |  |
| hash | 文字列 | 実行ファイルパスのハッシュ | 例: bd30981 |
| last\_run\_time | 日付 | 最終実行時刻 |  |
| loaded\_files | 配列 | DLLファイルパス一覧 |  |
| prev\_run\_times | 配列 | 過去の実行時刻一覧 | 最大8件まで保存 |
| run\_count | 32ビット整数 | 実行回数 |  |
| version | 32ビット整数 | プレフェッチファイルバージョン | 例: 30 |